

一般社団法人日本コンクリート診断士会
第8回定時社員総会議事録

1. 日時：2017年5月24日（水） 14:00～16:10
2. 場所：公益社団法人 日本コンクリート工学会 11階会議室
3. 資料：一般社団法人日本コンクリート診断士会第8回定時社員総会資料
 - (1) 第1号議案：2016年度事業および収支報告
 - (2) 第2号議案：2017年度事業および収支計画
 - (3) 第3号議案：細則の改訂
 - (4) 報告-1：各地区コンクリート診断士会活動報告・計画
 - (5) 報告-2：会員数等報告
 - (6) 報告-3：参加委員会活動報告
サステナビリティ委員会
国土交通省インフラメンテナンス国民会議
 - (7) 報告-4：理事・監事，幹事一覧

4. 出席者数

学術・正会員出席者数：当日出席57名+委任状出席 762名
計819名（4月1日現在議決権数：1472名に対し55.6%）
賛助会員出席者数： 1名
法人会員出席者数： 16名(13社)（法人枠で登録の会員を除く）
メディア関係： 2名(セメント新聞，コンクリート新聞社。共に法人会員数に含む)
合計当日出席者数：76名（賛助会員含む）

5. 議事

- 5.1 開会宣言：開会を司会の竹内理事が行い，総会成立について定数の確認が田沢事務局長より行われ，当日学術・正会員の出席57名，委任状出席762名の合計819名で，総会成立要件737名（議決権数1472名の半数以上）を満たしているとの報告がなされた。
- 5.2 議長の選出：定款13条により議長に林会長が選出され，挨拶があった。主な内容は以下の通りである。
 - ・本日ご多忙中にも関わらず，総会出席に対するお礼。
 - ・本会は2010年に設立し，本年は8年目となった。
 - ・会員数も順調に増加し1,600名を超えることができた。
 - ・本会は各地区の活発な活動がプラットフォームとなっている。
 - ・地区診断士会の中には，今年も設立10周年を迎える会があり，今後も増える状況である。
 - ・これも会員各位のご協力のおかげであり，これからも引き続きご協力をお願いしたい。

5.3 議案

5.3.1 第1号議案について

(1) 資料 (1) の第1号議案の2016年度事業報告(案)について各部会からの主な報告を示す。

①企画部会 (石川理事)

- ・情報の共有を図るため部会長会議を2回開催した。
- ・第7回総会時に「コンクリート診断士会のこれからを考える」と題した討論会を開催し、大分、北海道、福井診断士会等の事例報告と、今後の地区診断士会の活動について討論した。
- ・JCI主催の「コンクリートサステナビリティに関するシンポジウムIV各団体の創造的挑戦」で資料作成および発表した。

②総務部会 (井田理事)

- ・定款、細則等の改訂について検討した。
- ・総会の準備計画等を事務局と協議し実施した。
- ・事務局と共に健全な財務体質を構築した。
- ・中間決算を行い、健全な財務の執行に努めた。

②技術部会 (奥村理事)

- ・第4回業務体験発表会を東京で開催した。
- ・業務体験発表会の報告をJCI6月号のニュースとして投稿した。

③広報部会 (岸川理事)

- ・個人会員へ直接メールにてメールかわら版を4回送付した。
- ・HPのリニューアルを行った。
- ・発注者に対するPRはできなかった。

③会員部会 (原田理事)

- ・地区の会のない空白地区の設立支援、設立されているがまだ本会に入会していない地区へ対応した。
- ・富山県、宮城県、熊本県コンクリート診断士会が新たに入会し、地区診断士会は20地区となった。
- ・コンクリート診断士会が設立されているが、まだ未入会の会には今後働きかけていく予定である。
- ・法人会員の入会は、計画ではA会員1社、B会員1社、C会員4社の合計6社であったが、C会員2社のみ入会であった。現在、法人会員は71社である。

⑤事務局

- ・会員管理の充実と業務効率化を進めた。
- ・6月10月の2回にまとめて会員証を発行した。

(2) 資料 (1) の第1号議案の収支報告(案)について井田理事 (会計担当) から説明した。

(3) 田畑監事より監査報告がされた。

(4) 上記の説明に対して異議はなく、第1号議案は原案通り承認された。

5.3.2 第2号議案について

(1) 資料 (2) の第2号議案について各担当理事から説明した。主な事項を以下に示す。

①企画部会 (石川理事)

- ・JCIとの意見交換会は、昨年度は実現できなかったが、今年は是非実現したい。

- ・ 部会長会議の実施。
- ・ 会員数増加対策，各部会の事業サポート等。
- ②総務部会（竹内理事）
 - ・ 総会に関する事項の計画および実施。
 - ・ 定款等の会則について必要に応じて改定の検討を実施する。
- ③財務部会（井田理事）
 - ・ 事務局と共同して財務体質の健全化に努める。
- ③技術部会（奥村理事）
 - ・ 第5回全国業務体験発表会を名古屋で11月17日に開催する。
 - ・ 同日午前中に第1回法人会員の保有技術発表会を開催する。6月に詳細案内予定。
- ④広報部会（岸川理事）
 - ・ メールかわら版を4回/年発行予定で，地区の会の紹介を2地区/回の予定である。
 - ・ 今年は関連官公庁へのPRを具体的に計画したい。
- ⑤会員部会（原田理事）
 - ・ 空白地区の診断士会設立促進支援およびも加入地区の当会加入案内を根気よく行う。
 - ・ 個人会員・法人会員を増やしていきたい。
- ⑥事務局（田沢理事）
 - ・ 昨年と同様各部会，地区会との連携強化を進めたい。
 - ・ 会員管理の充実。
 - ・ 事務局業務の効率化，簡素化。
 - ・ メールかわら版の発行支援。

⑦2017年度予算について

井田理事より資料2の収支計画案について説明があった。

(2) 上記の説明に対して異議はなく，第2号議案は原案通り承認された。

5.3.3 第3号議案について

(1) 資料(3)の第3号議案の細則の改定について竹内理事から説明があった。主な改定は下記の通りである。

- ・ 第1章第2条 直接本会に入会する個人会員は事務局の資格確認により会員資格を有効とする。
(理事会承認を不要とする)
- ・ 第3章第8条 財務部会を総務部会，財務部会に分離する。

(2) 上記の説明に対して異議はなく，第3号議案は原案通り承認された。

理事会活動実績，幹事会活動実績の説明があった。

5.4 報告

5.4.1 報告-1：各地区診断士会活動報告・計画について（各地区代表者）

各地区診断士会より2016年度の活動報告，2017年度の活動計画等について，パワーポイントにより各約3分間の説明があった。青森県，福岡県，熊本県は資料確認のみであった。質問は特になかった。

5.4.2 報告-2：会員数等報告について（原田理事）

資料（5）の報告-2：会員数等報告について

4月1日現在の会員数1,617名（学術：25名，正会員：1,414名（うち，8は直接入会），賛助会員144名（うち，10名は法人からの登録）），法人会員は72（ランクA：14社，ランクB：9社，ランクC：49社）で，昨年度比123名増，法人会員1社増である。

5.4.3 報告-3について：参加委員会活動報告

(1) 資料（6）の報告-2：サステナビリティ委員会（木村幹事）

サステナビリティフォーラム報告等について2016年度の活動概要など報告を行った。

(2) インフラメンテナンス国民会議（石川理事）

国民会議の目指すビジョン，中期的な展望，運営体制等について説明があった。今後当会が関われそうな「自治体支援」，「技術者育成」，「市民参画」などのフォーラムについては引き続き情報収集を行い，これらのフォーラムへの参画のあり方を検討していきたい，とのことであった。

5.4.4 報告-4について：2017年度 理事・監事，幹事一覧（田沢理事）

資料（7）の報告-4 2017年度の理事・監事，幹事一覧についての説明があった。

本年度より財務部会を，総務部会，財務部会に分離し，富山，宮城，熊本診断士会代表者も理事会で発言することが可能となった。

5.5 閉会の挨拶

小野副会長より下記の閉会の挨拶があった。

- ・第8回定時社員総会の審議事項，報告事項についてご協力お礼。
- ・本会は今後ますます継続的発展をしてゆきたいので，会員各位のご支援ご協力をお願いいたします。

特別講演：総会審議事項，・報告事項終了後，以下の特別講演があった。

小野副会長による講演者紹介

演 題：コンクリートの耐久性評価方法の提案

講演者：首都大学東京 大学院都市環境科学研究科 建築学域 教授 橘高 義典様

講演概要：RC建造物の耐久性評価の課題，実測値に基づく外挿法による健全性評価法，RC建造物の劣化度評価ダイアグラム，耐久性向上のためには，コンクリートを表す漢字，古代ローマコンクリート技術，エイジングとは，コンクリートの文化性の考察。

文責：毎田（事務局）